

2015 年度

学校評価 結果報告書

学校法人金剛学園

金剛学園小学校

2015年度 金剛学園小学校 学校評価

1. 目指す学校像

本校は韓国系国際学校であり、在日韓国人、日本人、韓国からのニューカマーの児童が在籍している。それぞれ生まれ育った環境や国籍は違うが、韓国と日本の文化を学び、お互いの文化や背景の違いを尊重しながら国際人意識を深め、地域社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

- ・豊かな国際感覚の育成
- ・温かい心、人間性の育成
- ・確かな学力の育成

2. 中期的目標

1. 国際社会に適応できる実力を育てる。

- ① 英語の会話能力を向上させる。
- ② 韓国語の会話能力を向上させる。また韓国語能力試験対策を行い、より高い資格を習得できるようにする。
- ③ ICT 機器を各授業で活用することによって ICT 教育を通して習熟度を上げる。

2. 望ましい人間性を育む。

- ① 礼儀正しく、規則を守り、基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。
- ② 人権教育の推進を図り、相手の立場を理解できる思いやりのある豊かな人間性を育む。

3. 基礎学力の定着と学力向上を目指す。

- ① 基礎・基本となる学力の定着を図る。
- ② 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得出来るように教材研究をする。

4. 児童募集に力を入れる。

- ① 本校入学希望者の人数を増やす。
- ② 本校の広報活動に力を入れる。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

<p>自己評価アンケートの結果と分析 〔2016年3月2日（水）実施〕 ～達成状況及び取り組み状況～</p>	<p>学校評価委員会からの意見 ～今後の改善方策～</p>
<p>○児童のアンケート結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施：2016年3月2日(水) ・回答：108名/109名 回答率 99.1% <p>友だちと仲良く過ごし、楽しく学校生活を送っている姿が回答からうかがうことができ、学校行事やクラブ活動に積極的に取り組んでいる児童が多いことがわかる。</p> <p>安全については、地震や火災訓練を通して、しっかり学習できていると答えた児童が多い。今年度は津波対策の避難方法として近隣にある ATC トレードセンタービルに避難訓練を実施した。災害が起きた場合に学んだ事が活かされるよう、来年度も力を入れて取り組んでいきたい。今年度から導入された電子黒板やタブレットを使った授業は低学年が 100%楽しいと答えている。来年度は、導入した電子黒板やタブレットをより活用して楽しく分かりやすい授業が展開できるよう教材研究しなければいけない。</p> <p>健康面においては、昨年度遅くまで起きていた児童が1・2年生は 51%だったのに対し今年度は 29%と大きく改善されていた。3～6年生は 33%だったのに対し 29%と少しだが改善されている。全体で考えると 26%も生活リズムが崩れている児童の改善がみられた。今年度の目標として生活リズムが崩れているといけない理由をしっかりと理解させることを取り組んだ成果が表れた結果だと考える。引き続き取り組んでいきたい。また、今年度の取り組みとして正しい姿勢で元気よくあいさつができるように目標を立て、週番生が毎朝登校時に声かけを行うあいさつ運動を実施した結果、昨年度よりはあいさつがきちんと出来る児童が増えてきた。来年度も力を入れて取り組んでいきたい。</p> <p>2年目になる全学年縦割り活動では、高学年が低学年を思いやる姿やリーダーシップをとる6年生の姿がいろいろな行事で見られるようになり、縦割り活動の成果が表れていると思われる。来年度も縦割りのパターンを多様化して活動していきたい。</p> <p>○保護者のアンケート結果から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施：2016年3月2日(水)～3月5日(土) ・回答：73世帯/83世帯 回答率 88% <p>アンケートの結果 34項目中、今年度の満足度 70%以下は 2項目から 1項目に減少し、満足度 90%以上は 11項目から 16項目と増加し満足度の高い評価を得ることが出来た。特に、「他校にない独自の教育活動を行っている」や「学校は全教職員で協力し合い教育活動を行っている」の項目は 94%の保護者が満足している、と高い評価を頂いた。これは、本校の教育方針や独自の教育活動についての情報がホームページや学級通信、案内文などを通して発信した結果だと考えられる。</p> <p>学習面においては、きめ細やかな指導を行うために昨年度から算数を 2人制（ティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日：2016年3月22日(火) ・場所：本校 会議室 ・出席者：5名 <p>児童・保護者のアンケート結果からおおむね満足していることがうかがえた。学校生活が楽しく過ごせるよう、様々な行事や活動を企画・計画して遂行している結果だと思う。全教師の熱心な教育活動により、まとまった運営がなされている。</p> <p>(1) 学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や教師が本校の教育方針や独自の教育活動について関心を持ち、互いに信頼関係を築いていることがうかがえる。 ・フェイスブック、ホームページや学級通信、案内文などを通して学校の情報を公開し透明性を維持している。 ・全教師間の相互理解がなされ、熱心な教育活動が行われている。 ・危機管理においては、円滑に対応出来るようにマニュアルを熟読し、教職員同士で確認し合う必要がある。常に危機意識を持ち続けるよう心がけてほしい。また、昨年度に津波・地震対策用の最低限必要な備蓄品が準備されたが、今年度は補充されていない。来年度は計画を立てて補充していかなければいけない。 <p>(2) 教育内容</p>

ーム・ティーチング)、韓国語の授業を本国班・中級班・初級班と3班に分けて行い、英語は週3時間の授業を実施している。本校独自の特色のある教育の一つである韓国の文化を習得・学習する機会を設けていることについて、昨年同様に保護者は高く評価している。英語の授業に対する満足度は昨年58%と低かったが、今年度は71%と13%高くなった。週3時間の英語の授業の実力について保護者から問い合わせが多いことから、来年度から5・6年生対象に英語検定を受験することにした。来年度の目標は全員5級合格を目指し取り組んでいきたい。来年度も引き続きいろいろなプログラムを準備して「英語を話せる児童」を目標に授業を進めていきたいと思っている。

いじめや不登校のない学級作りに取り組んでいるという評価は昨年77%であったが、今年度は90%と大幅にアップしている。児童の価値観・道徳心が多様化していく今日、日々いろいろな問題が起きているが、これからも児童一人ひとりのきめ細やかな観察・指導を徹底して、全員が安心して登校できるように配慮と支援をしていきたい。

設備面においては、充実した授業が出来るように整備されていると高く評価されている。来年度4月から、全教室の机と椅子が学習するのに使いやすい大きいサイズのものに新しく取りかえられ、気持ちよく学習できる環境になる予定である。

安全面においては、学校ホームページを通して、津波・地震が起きた時の対策や避難訓練の内容、立地上の説明をするなど安心してもらえるよう働きかけている。災害時に最低限必要な備蓄品も準備している。また、下校時にはスクールバス添乗時のシートベルト装着指導、教師引率のもと集団下校するなど安全面に配慮していることが高く評価されている。常に危機管理意識を持ち続けるように心がけていきたい。来年度4月にスクールバス2台が新車に代わり、児童の安全面においても安心できるように配慮している。

〈来年度に学校で取り組むべき課題〉

- ・今年度同様、つまずきを的確に把握してきめ細やかな指導を行い、学力が向上するよう指導する。
- ・韓国語・英語で「会話ができる児童」を育てる。
- ・自分の意見や考えをきちんと伝えられるような授業の取り組みをする。
- ・教材研究をしっかりと行い、楽しくわかりやすい授業を目指す。
- ・わからないことや、困ったことがあれば、いつでも教師に相談することができる関係作りに努める。
- ・避難訓練の回数を増やし、災害時にスムーズに行動出来るように津波・地震対策を強化する。
- ・誰に対しても、大きな声で元気よくあいさつができるように指導する。

〈家庭に対して望むこと〉

- ・宿題や準備物を忘れないように連絡帳や時間割をチェックする。
- ・早寝・早起きを基本に、生活リズムを整えるようにする。
- ・学校のことを家庭内で話す機会を増やす。
- ・家庭学習の習慣化を図る。

○教職員

・本校独自の特色のある語学教育については、韓国語の授業を能力別に3班分けで行い、英語も週3時間のカリキュラムを実施している。実際どのような成果があったのか実感出来るような取り組みを来年度の課題として検討してほしい。

・算数を2人制(ティーム・ティーチング)で行い、一人ひとりの苦手なところを見つけて指導していることは、学力向上及び課題のある児童の学習理解に大きな助けになり、きめ細かな指導がされていると高く評価する。他の教科も検討してほしい。

・情報モラルの講習が行われているが、正しい取り扱いについてこれからもしっかり指導してほしい。

・五感を使って人の命の大切さや他人への思いやりの心を学べる環境作りをする必要がある。

・基本的な生活習慣の定着は難しい。家庭との協力が必要なので、親子で考える場を作れば効果が上がると思う。検討してみる価値がある。

・短い時間ではあるが、継続して朝の読書タイムを設けたことは評価する。

(3) 生活指導・児童支援

・家庭と学校が密に連絡を取り連携を取り合っていて、保護者と教師間の信頼関係が生まれて良い関係を保っていることは望ましい姿だと評価する。

・児童一人ひとりを全教師で見守っている様子がよくわかり、安心して任せられる。

(1) 学校運営

- ・おおむね良好である。建学の精神や教育目標については理解し、それに基づいた様々な取り組みがなされた。
- ・「学習財務や経営に関する把握について」は、昨年出来ていない64%が55%に減少し、「評議会、理事会機能について把握している」36%が64%にアップして改善がみられた。
- ・教職員連携は教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われた。
- ・情報公開においては、教員たちが積極的にフェイスブックやホームページでリアルタイムに発信することにより、高い評価を得た。
- ・危機管理については、防災マニュアルが作成されたことにより、担当や役割分担が明確になったことで迅速に対応出来る体制が確立された。
- ・地域交流については、南港ポートテンという会を通じて南港地域の学校と連携を取り、また咲洲こどもフェスタに参加するなど積極的に地域との交流を図れた。

(2) 教育内容

- ・おおむね良好である。
- ・本校独自の特色の一つである民族的な行事を通してのアイデンティティ教育への取り組みに対する成果は高く認識されている。
- ・語学教育については、韓国語の授業を能力別に3班に分けて授業を行っているが、その効果は校内ウリマルイヤギ大会を通してみる事が出来た。英語に関してはどのくらいのレベルなのか知るために来年度は英語検定受験を試みたい。来年度も目標達成のためにきめ細かな指導、教材研究など、更なる改善が必要であると評価している。
- ・今年度から導入された電子黒板やタブレットを活用することで幅広い授業が展開された。全教職員がスキルアップできるように取り組んでいきたい。
- ・情報のモラルや人権教育について講習を行い取り組めた。
- ・環境教育については児童による地域清掃や校内清掃に力を入れ、美化活動に取り組めた。
- ・学校給食については、衛生面・栄養面を考慮してメニューを確認し、児童がおいしく食べることができるよう取り組んだ。
- ・縦割り活動や異学年交流はお互いを知り、思いやる関係をもつことに大きな成果があったと評価した。
- ・ボランティア活動としては、ネパールのサピング村の学校支援募金活動や粗食日を設け老人ホームに車いすを寄贈、慰労訪問するなど、様々な活動に取り組めた。
- ・クラブ活動・学校行事・スポーツ・芸術文化活動に対する取り組みは活発であるとすべての教員が評価している。

(3) 生活指導・児童支援

- ・生活指導については、問題が起きた場合の対処は的確に行われていると評価している。安全教育の体制が整っていて、家庭とも密に連絡を取り連携は良好である

- ・保護者の価値観が多様化しているので問題解決が難しい場面があるが、どの保護者に対しても毅然とした態度で接してもらいたい。
- ・児童の生活指導や教育のことで困った時、保護者と教師とカウンセラーの先生との連携がしっかり取れていることは望ましい姿である。

(4) 教員研修・資質向上

- ・教師間で授業内容の意見交換を行い、各自持っている情報を共有することで授業の質を高めていくことが必要である。スキルを向上させるために教師一人ひとりがより高い意識を持てるように努力する姿勢が望まれる。
- ・夏休みなどを利用して「わかる授業」の教材作りや研修に参加してもらいたい。
- ・2015年度に各教室に電子黒板が導入され、電子黒板やタブレットを活用した授業が始まった。それに関連した研修を前年度に行い、実際の授業で活用できたことは評価する。これからも高度な技術や情報を習得出来るように研修計画を立て、学力向上を目指して努力してほしい。

(100%) と高く評価されている。

- ・教育目標の一つである基礎学力の定着については、反復学習、放課後補習授業や夏休み集中補習授業、教師 2 人制を実施することにより成果があったと評価している。
- ・補習を通し、習熟度が低い児童に対する対策をとっているが不十分であり、目標達成のために粘り強い指導が必要である。
- ・韓国語能力検定試験・漢字能力検定などへの取り組みは個人の能力に合わせて積極的に行っていると評価している。
- ・カウンセリングを取り入れた支援体制については、小学校全教師が一丸となって取り組んでいる。支援が必要な児童に対して個別に支援計画を立て、全教員が共有して指導していく体制を整えた。

(4) 教員研修・資質向上

- ・研修については、教員数に余裕がなく平日に行われる校外研修に参加できなかった。しかし、夏休みや休業日の土曜日を利用して各自が計画を立て、研修に積極的に参加できた。来年度のスキルアップを目指し進めていきたい。
- ・来年度は校内研究授業を実施するよう計画を立て、教員の資質の向上を図ることが求められる。
- ・電子黒板が導入されたので、それに関連した研修がさらに必要だ。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的な目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 国際社会に適応できる実力を育てる	1. 英語の会話能力を向上させる。	1. ・英語の授業時数を全学年週3時間確保して会話力を高める。5,6年は週1時間を教師2人制のTTで授業を進める。 ・カリキュラムを低・中・高学年に分け、興味が持てる楽しいプログラムを組み立てる。(歌・ゲーム・劇遊び・読み聞かせ・場面設定会話など) ・外国の楽しい行事を知り、体験することで異文化を理解する。	1. ・1,2年生は歌やゲーム・カードを中心に興味を持って楽しく授業に参加できるように努める。 ・3年生は生活発表会の英語劇を通し、英語で表現する楽しさを感じて会話能力を高める事に努める。 ・4年から6年は習得した英語を使い自己表現出来る場面を作る事に努める。 ・ハロウィンなどの体験を通し、他国の文化を知る機会を設ける。	・ネイティブ教師と担任教師の2人制授業についていけない児童のフォローができ、効果がみられた。 ・英語劇を通し全員が英語で表現する楽しさを感じ、英語の会話能力を高めることができた。 ・リスニング能力は向上してきたが、会話が苦手な児童が多く見られるので、簡単な英会話が流暢にできるようなプログラム研究が必要である。
	2. 韓国語の会話能力を向上させる。	2. ・能力に応じた3班編成で授業を行い、簡単な会話ができる力を養う。 ・韓国語能力試験の対策を行い、より高い資格を習得できるようにする。 ・学校内では出来るだけ韓国語で話すよう指導する。 ・1,2年の算数は韓国語イマージョン教育を導入する。	2. ・初級/中級/本国班と自分の能力に合った授業を受けることで会話能力向上を目指すことに努める。 ・夏休みに補習授業を行い、領域別に細かい指導を行う。 ・授業で能力試験の過去問題の取組みを行う。 ・4~6年全児童参加の校内ウリマルイヤギ大会を実施する。 ・日常に必要な韓国語の習得に努める。(数、時間、天気、簡単な文章など)	・授業に電子黒板やタブレットを使う等、多様な教材を活用した結果、授業を楽しく受けている児童が増え、会話能力向上の効果がみられた。 ・受験者37名中28名(76%) 1~2級22名、4級2名、5級4名が合格した。 ・校内ウリマルイヤギ大会を実施することで児童が活発に韓国語に取り組み、韓国語の実力を発揮できた。
	3. 情報教育を推進する。	3. ・コンピューターの授業でエクセルやワードを活用できる能力を養う。 ・教職員のパソコンスキルの向上を図る。 ・電子黒板やタブレットを有効に使えるように研究し、教師間で情報を共有する。	3. ・コンピューターを使うことでいろいろな知識が広がり、また活用することで生活が便利になることを教える。 ・教師の研修実施 「電子黒板・タブレット」研修 「ICT機器活用セミナー」参加	・ポスター・簡単な表やグラフなど、コンピューターを使えるようになった。 ・教師のパソコンスキルの向上に力を入れることができた。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 望ましい人間性を育む</p>	<p>1. 礼儀正しく、規則を守り基本的な生活習慣を持つ子どもを育てる。</p>	<p>1. ・正しい姿勢で元気よくあいさつが出来るように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝、早起き運動を推進する。 ・登下校のマナーを守ることや安全について指導する。 ・身の回りの整理整頓を指導する。 ・時間を守れるように指導する。 	<p>1. ・全校朝礼であいさつ指導を行う。週番生が毎朝登校時に声かけをすることであいさつが出来る児童を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起きがなぜ大切なのか、学習することで、実行できる児童を増やす。 ・集団下校に教師が引率し、公共マナー指導を行う。 ・電車の中で他人に迷惑をかけることはどんなことなのか映像で具体的に説明を行う。 ・自分の持ち物をきちんと整理整頓できるように写真掲示指導を行う。 ・授業開始時には着席しているように指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢であいさつができるよう、継続して指導を行わなければならない。 ・高学年になるほど生活習慣が崩れてくる傾向が見られるので、家庭と密に連絡を取ることが必要である。 ・公共の場でマナーを守れない児童に対して、マナーの必要性を考えさせ根気よく指導する必要がある。 ・身辺整理が苦手な児童には整理しやすい方法を提示して支援する必要がある。 ・整理方法を全学年で統一する必要がある。 ・自ら時間を守る習慣をしっかり持てるように訓練する必要がある。
	<p>2. 人権教育の推進を図る。</p>	<p>2. ・いろいろな活動を縦割り班で行い、思いやる心、協調性を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流を行い、リーダー育成を図る。 ・人権講演会や人権学習を通して、相手の立場を理解する豊かな人間性を育てる。 	<p>2. ・縦割り活動が円滑に行えるように全校朝礼時に縦割り班でリクレーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流を通してリーダーとしての資質を育てる。 ・違いを認め自他ともに大切に出来る心を持つように指導した。 ・いじめ研修、ワークショップ、エゴグラム実施及び分析、ネパール支援募金活動などを実施する。 ・自分を知り、相手の立場を理解できる豊かな人間性を育てるよういろいろな機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金剛マダンや旧正月行事などの行事は自主的に活動できるように配慮した。 ・縦割り活動を通して上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生にあこがれる関係を築くことができた。来年度もこの活動を推進する。 ・いろんな場面でリーダーの役割をすることで自信がたった。 ・命の大切さを知ることによって自尊感情を持つことができ、他人も大切にすることを学んできた。 ・自分をすることで相手を理解する心を持つことができた。

<p>3 基礎学力の定着と学力向上を目指す</p>	<p>1. 基礎・基本となる学力の定着を図る。</p>	<p>1. ・算数は教師2人体制のTTで授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3~6年対象に週1回、放課後に補習(算数・漢字)を行い、学習に自信を持たせ学習意欲を高める。 ・5,6年を対象に夏休み集中補習(韓国語・国語・算数)を実施し、一人ひとりの到達度にあつた指導を行う。 ・漢字指導に力を入れる。 ・反復学習の徹底 	<p>1. ・つまずいている児童を発見し、きめ細やかな指導を行うことで、習熟度を高めるように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後補習は、習熟度の低い児童の縦割りクラスを設け実施した。また、つまずく児童の多い5年は2クラス設け、きめ細やかな指導を行う。 ・夏休み集中補習は、全教師指導体制をとり、少人数クラスで個人の到達度にあつた授業を実施し、学力向上を目指す。 ・3~6年対象に漢字能力検定を受験して漢字能力を高める ・計算ドリルやワーク、漢字練習の課題を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2人体制で授業を行う事で授業内容を理解しているか確認することが出来た。 ・基礎学力をつける事で学習に自信をもつ事が出来た。 ・校内テストを年3回実施して児童の学力を把握し、到達度に達していない児童には個別指導を行うことが出来た。 ・漢字能力検定試験合格者 80名中75名 (合格率94%) ・課題を細かくチェックすることで、一人ひとりの苦手な課題を発見・克服出来た。
	<p>2. 分かる授業を行い、学習内容を確実に習得できるように教材研究をする。</p>	<p>2. ・各教科の研修に参加して指導力アップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板、タブレットを活用して、楽しく分かりやすい授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教師が研究した教材を全教師で共有することで教師の指導力を高める。 ・電子黒板やタブレットを導入、活用することで学習意欲を高める。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 集中力が高まる。 2. 小テストや単語テストの結果をその場で確認する。 3. 復習問題をタブレットに送信して授業の再確認をする。 →レベルに合わせた復習が可能が可能。 4. 漢字の書き順確認→全員で確認する。 5. 図形や地図、教科書の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員数に余裕がなく、平日に行われる研修参加が難しいが、夏休みや土曜日を利用して参加するように努めた。 ・電子黒板やタブレットを活用することで学習の幅が広がり、児童一人ひとりが積極的に授業に参加する姿が見られるようになった。 ・地図や図形等の板書の時間が短縮され、授業時間を有効に使えるようになった。

2015 年度 金剛学園小学校 学校関係者評価委員会報告書

1. 実施日時： 2016 年 3 月 22 日（火）午後 1 時～午後 2 時
2. 場 所： 金剛学園 会議室
3. 出席者： 学校関係者評価委員 5 名
PTA 会長、PTA 副会長、PTA 学級委員長、校長、教頭
4. 2015 年度に小学校で実施した「学校評価アンケート結果」「自己評価」の分析結果について評価委員の意見をひとつにまとめた。

児童・保護者のアンケート回答結果から総合的に見て本校に対する満足度は概ね高いと判断される。学校生活が楽しく過ごせるよう、様々な行事や活動を企画・計画して遂行している結果だと思われる。保護者や教師が本校の教育方針や独自の教育活動について関心を持ち、互いに信頼関係を築いていることがわかる。フェイスブック、ホームページや学校案内文などを通じて情報を公開して透明性が維持されている。学校の特色を生かした教育活動や行事の評価が高く、全教職員の相互理解がなされ、熱心な教育活動により、まとまった運営がされている。

本校の特色である語学教育については、韓国語の授業を 3 クラスに編成して積極的に取り組んでいることは大きく評価できる。英語は週 3 時間行っているが、授業の実力について保護者からの問い合わせが多くあるので、何らかの対応を検討してほしい。これにより語学力が向上することを期待する。

昨年から行われている算数教科のチーム・ティーチングは学力向上及び課題を持つ児童の学習理解に大きな助けになり、きめ細い指導がなされているので続けて行われることが期待される。

危機管理については津波や地震対策についてしっかり指導されていると評価が高い。今年度は近隣の ACT トレードセンタービルに向かう避難訓練を行い、避難ルートの確保・確認を行ったことは評価できる。ただ、備蓄品に関して今年度補充できていないことを反省し、計画を立て備蓄品の確保をして、常に高い危機管理意識を維持してもらいたい。

教職員の自己評価では、昨年度、校内外研修の項目の評価が低かったが、夏休みや土曜日を利用して参加するなど工夫がなされたようで、評価が高くなっている。また、今年度から導入された電子黒板やタブレットを活用する ICT 教育に全教師が積極的に取り組んでいる姿勢がとても望ましく、教師のスキルアップが児童に生かされることを願う。

今年の学校評価が来年度に生かされ、金剛学園が発展することを願う。

以上

2015年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート 結果報告 (1・2年生)

・実施日 : 2016年3月2日(水)

・対象児童 : 29名(1年:18名、2年:11名) 回答率:96.6%

◎:よくあてはまる ○:あてはまる △:あまりあてはまらない ×:まったくあてはまらない

	設 問	◎	○	△	×	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1	学校にいくのが たのしい。	50	29	14	7	0
2	ともだちと なかよく している。	43	46	7	4	0
3	じゅぎょうは わかりやすく たのしい。	25	50	18	7	0
4	じゅぎょうちゅうに はっぴょうする。	29	42	22	7	0
5	先生は べんきょうで わからない ところを おしえてくれる。	61	18	18	3	0
6	先生に いろいろな ことを そうだんできる。	11	60	21	4	0
7	いのちの たいせつさを まなんでいる。	57	22	14	7	0
8	だれに たいしても やさしく している。	18	54	28	0	0
9	ともだちの がんばりや やさしさに きづくことができる。	43	32	21	4	0
10	しゅくだいや じゅんびぶつを わすれずに もってきている。	22	57	18	3	0
11	きれいな ことばを つかっている。	29	43	28	0	0
12	大きな こえで あいさつをしている。	32	43	21	4	0
13	まいにち はやねはやおきを している。	46	25	29	0	0
14	まいにち あさごはんを たべている。	75	18	7	0	0
15	きまりや やくそくを まもっている。	36	46	14	4	0
16	うんどうかい、えんそく、せいかつはっぴょうかいなどの ぎょうじは たのしい。	71	14	11	4	0
17	かかりや とうばんの しごとを がんばっている。	39	32	25	4	0
18	あんぜんに 学校に かよっている。	61	36	0	3	0
19	じしんや かじなどが おこったとき どうしたらよいかを おしえてもらっている。	71	11	14	4	0
20	学校からの おたよりを おうちの 人に わたしている。	61	25	7	7	0
21	学校で あったことを おうちの 人 に はなしている。	57	36	0	7	0
22	きょうしつ、おんがくしつ、としょしつ、たいいくかんなどは つかいやすい。	75	18	0	7	0
23	でんしこくばんやタブレットを つかった じゅぎょうは たのしい。	86	14	0	0	0
24	かんこくごのじゅぎょうは たのしい。	43	36	14	7	0
25	えいごのじゅぎょうは たのしい。	54	21	18	7	0

2015年度 金剛学園小学校 学校評価アンケート 結果報告 (3~6年生)

・実施日：2016年3月2日(水)

・対象児童：80名(3年：18名 4年：20名 5年：21名 6年：21名) ・アンケート回答率：100%

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

	設 問	A	B	C	D	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1	学校に行くのが楽しい。	33	38	24	5	0
2	友だちとなかよくしている。	41	49	9	1	0
3	授業は楽しい。	25	46	21	8	0
4	授業中によく発表する。	10	40	39	11	0
5	授業はわかりやすい。	33	41	24	0	2
6	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	21	38	36	5	0
7	家で学習や読書をしている。	31	33	19	15	2
8	宿題や準備物を忘れずに持ってきている。	9	65	19	7	0
9	きれいな言葉づかいをしている。	9	40	40	10	1
10	大きな声であいさつをしている。	26	34	34	5	1
11	先生に、いろいろなことを相談できる。	10	30	40	16	4
12	学校でいろいろなルールを守る大切さを学んでいる。	33	47	15	5	0
13	きまりや約束を守っている。	15	63	15	7	0
14	命の大切さを学んでいる。	43	45	10	2	0
15	だれに対しても思いやりをもって接している。	16	54	24	6	0
16	友だちのがんばりや優しさに気づくことができる。	30	51	18	1	0
17	十分なすいみんをとっている。	35	32	21	12	0
18	毎日、朝ごはんを食べている。	74	16	4	6	0
19	運動会、校外学習、生活発表会、ノリマダンなどの学校行事は楽しい。	70	19	9	2	0
20	クラスや学校の仕事をがんばっている。	24	54	19	3	0
21	クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	38	35	15	5	7
22	安全に通学している。	50	38	9	2	1
23	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学んでいる。	63	31	4	2	0
24	地域の清掃活動をがんばっている。	30	25	18	26	1
25	学校からのお便りをおうちの人にわたしている。	44	31	19	6	0
26	学校であったことをおうちの人に話している。	31	34	20	14	1
27	教室・特別教室・運動場などは、使いやすい。	50	29	18	3	0
28	授業で電子黒板やタブレットなどを使っている。	23	48	18	10	1
29	韓国語の授業は楽しい。	16	56	18	10	0
30	英語の授業は楽しい。	28	42	20	10	0

2015年度 金剛学園小学校 学校評価 保護者アンケート結果報告

・実施日：2016年3月2日（水）～ 3月5日（土）

・対象：小学校保護者（83世帯） 回答：73世帯 回答率：88%

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

	設 問	A	B	C	D	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1	学校の教育方針が明確である。	44	44	10	1	1
2	学校は、他校にない独自の教育活動を行っている。	61	33	4	1	1
3	学校は、教育活動や子どもの様子を、案内文・学級通信・ホームページ等を通してよくわかるように伝えている。	54	41	4	0	1
4	学校は、全職員で協力し合って教育活動に取り組んでいる。	46	49	4	1	0
5	お子さんは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	26	57	15	1	1
6	先生は、きめ細やかな指導や支援をしている。	33	55	11	1	0
7	先生は、子どものよいところや努力したことを評価してくれる。	47	46	4	3	0
8	通知票は、子どもの学力や達成度についてよくわかるようにできている。	29	60	7	3	1
9	お子さんは、家で進んで学習や読書をする習慣がついている。	8	58	29	5	0
10	宿題や課題などは、家庭学習が充実するよう工夫されている。	19	60	18	3	0
11	お子さんは、きれいな言葉づかいをしている。	12	60	23	3	2
12	お子さんは、きちんと挨拶ができる。	22	59	19	0	0
13	お子さんは、楽しく学校に通っている。	48	41	8	3	0
14	お子さんは、連絡帳などで、宿題や準備物を確認している。	44	36	18	2	0
15	お子さんは、きまりや約束ごとを守っている。	34	48	14	3	1
16	お子さんは、学校でのできごとについて話をしてくれる。	41	47	10	2	0
17	学校は、守るべきルールやマナーを教えてくれる。	37	56	6	1	0
18	先生は、子どもの良い所をほめ、間違った行動は適切に指導している。	33	58	8	1	0
19	学校では、子どもたちが活躍する場がたくさんある。	36	53	10	1	0
20	学校は、学校生活で問題が生じたときに、迅速・的確に対応している。	34	59	4	3	0
21	学校は、健康・食事の大切さ・病気の予防について指導している。	29	59	10	1	1
22	学校は掃除がよく行き届き清潔である。	40	53	6	1	0
23	学校は、いじめや不登校のない学級づくりに取り組んでいる。	32	58	6	3	1
24	学校は、「命を大切にする心」「豊かな心」が持てるように指導している。	36	60	1	3	0
25	学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫されている。	50	48	1	1	0
26	学校は、クラブ活動に積極的に取り組んでいる。	45	40	8	1	6
27	お子さんは、安全に通学している。	48	47	5	0	0
28	学校は、子どもの安全管理・安全指導に力を入れている。	38	58	3	1	0
29	学校は、地震・火事などの対応について指導している。	38	47	11	3	1
30	学校は、保護者からの問い合わせや要望に対して適切に対応している。	37	53	3	6	1
31	学校は、行事や授業参観・懇談会などを通して、お子さんの学校生活の様子がわかるような機会を設けている。	60	36	4	0	0
32	学校行事に積極的に参加・協力している。	29	55	14	1	1
33	教室・特別教室・運動場などは、使いやすいように整えられている。	33	65	1	1	0
34	授業でICT機器（電子黒板やタブレット）などを活用している。	44	49	4	0	3
35	韓国語の授業に満足している。	26	50	19	4	1
36	英語の授業に満足している。	13	58	20	7	2
37	韓国の文化を習得・学習する機会が設けられている。	48	47	4	1	0

2015 年度 学校自己評価個票 (No.1)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設 問	A	B	C	D
				%	%	%	%
学 校 運 営	私学の 独自性	建学の精神について	建学の精神が教職員、児童、保護者など学校関係者によく浸透している	18	73	9	0
		学校の教育目標について	学校の教育目標を教職員、学校関係者が理解している。	9	82	9	0
		愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	45	55	0	0
	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	64	36	0	0
		教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	45	55	0	0
	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	18	73	9	0
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	9	91	0	0
		会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	45	45	10	0
	財務関係	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	10	45	45	0
		財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	0	45	45	10
		理事会・評議員機能について	理事会・評議員会の役割や機能について理解している。	9	55	18	18
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	100	0	0	0
		授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	100	0	0	0
	危機管理	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	45	45	10	0
		危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	55	36	9	0
	開かれた 学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	0	55	36	9

2015年度 学校自己評価個票 (No.2)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設 問	A	B	C	D
				%	%	%	%
教育 内 容	国際人教育	語学能力の育成	韓国語、英語、日本語のトリリンガル教育に十分取り組み、語学能力の育成を図っている。	36	55	9	0
		アイデンティティー教育	自己のルーツを知り、誇りと自信を持って、自ら行動できる児童の育成に取り組んでいる。	36	64	0	0
		国際理解	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	82	18	0	0
	情報教育	情報能力育成	児童の情報活用能力の育成を図っている。	55	45	0	0
		情報モラル指導	情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	64	36	0	0
	人権教育	研究体制	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	9	82	9	0
		教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	18	73	9	0
	環境教育	環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育を行っている。	64	36	0	0
		実践的態度の育成	児童に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	100	0	0	0
	健康・食育	健康・食に関する指導について	健康教育、食育などにも配慮している。	55	45	0	0
	生徒会活動	児童会活動支援状況	児童会活動を通じて、児童が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	27	64	9	0
		児童会活動の充実	児童会行事を活性化させるため、児童へ積極的な参加を促している。	27	73	0	0
	その他	読書推進	図書室の利用促進など読書指導に取り組んでいる。	45	45	10	0
		部活動	部活動は活発である。	45	55	0	0
		ボランティア	ボランティア活動は活発である。	0	82	18	0
学校行事		体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	45	55	0	0	
スポーツ・芸術文化		スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。	73	27	0	0	

2015年度 学校自己評価個票 (No.3)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D
				%	%	%	%
生徒指導・支援	生活指導	指導方針の一貫性	生活指導は学校の方針に従っている。	82	18	0	0
		生活指導について	児童の生活指導に組織的に対応する体制がある。	55	45	0	0
		安全教育と規範意識の高揚	校内巡視や登校指導、校外補導を定期的に実施し、事故を未然に防ぐ体制がある。	55	45	0	0
		家庭との連携状況	生活指導において、家庭との連携ができています。	91	9	0	0
	児童支援	学習指導について	学習指導において、児童の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。	73	27	0	0
		学習習慣の定着	テストや各種検定試験前に自主学習の時間などを設定し、学習習慣の定着に対する支援体制がある。	73	27	0	0
		カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。	64	18	18	0
		進路指導について	児童一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	45	45	10	0
			進路決定への適切な情報伝達と支援体制が整っている。	45	45	10	0
		資格取得の充実	資格取得の支援体制が整っている。	45	45	10	0
教員研修・資質向上	教員研修	教員の資質向上について	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	18	64	18	0
		校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	9	73	18	0
		初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	9	82	9	0
		校外研修	教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	36	64	0	0
		研修成果の共有状況	研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。	18	64	9	9